

菅茶山 顕彰会 会報

第 15 号
発 行

菅茶山先生
遺芳顕彰会
2005年3月1日



竹下陶子先生句碑

記念館に陶子句碑建立

「茶山の文化あり」

高橋孝一

「菊薫るかぎり茶山の文化あり」――。去る十一月十一日、菅茶山記念館の前庭に、茶山を詠んだ句碑が建立され、盛大な除幕式が行われた。

この句碑は、俳句結社青芦会を主宰するホトトギス同人の竹下陶子先生（八一）⇨福山市東川口町⇨が、平成十年（一九九八）、茶山生誕二百五十年祭で献句された句で、竹下先生の揮毫の句を刻んだ黒御影石の板を、高さ約二・四メートルの御影石の二本の柱にはめこんだ句碑である。

この句碑は、竹下先生の指導を受ける神辺笹鳴句会会員の三宅香さん（八七）⇨神辺町川北⇨が、竹下先生への感謝をこめて建立を思い立ち、同句会によって建立されたもので、菊花香る中、竹下先生、三宅さんら関係者によって除幕された。

竹下先生は新聞の俳壇の選者を三十年近くも務められており、「菊花に日本文化を象徴させて茶山先生の遺徳を偲んだ句で、茶山先生の座像のそばに設置していただき、これ以上の喜びはない。」と、その喜びを語られている。

茶山座像と句碑を眺めていると、「菊薫るかぎり茶山の文化あり」：これこそ、茶山先生自身がおっしゃりたかったことではなからうか、陶子先生はそれを代弁してくださったのであろうか、と、そんな想いがしてくる。

そこで私も迷句を一句

「茶山あるかぎり神辺の文化あり」

（菅茶山遺芳顕彰会会長）